

日程 平成30年5月4日～6日 (尾瀬) 燧ヶ岳・至仏山

5/4 浅草＝会津高原尾瀬口＝御池

5/5 御池－広沢田代－熊沢田代－俎嵜－柴安嵜－下田代十字路－竜宮小屋（泊）

5/6 竜宮小屋－山の鼻－至仏山－オヤマ沢田代－鳩待峠＝沼田

撮影者 5/4、5 高津

5/6 笠原



002 御池ロッジ

沿道は一足遅い春、桜やアカヤシオなど春の花々が目を楽しませてくれました
バスに揺られて二時間、やっと御池に到着。

5/4

001 会津高原尾瀬口駅

東武から野岩鉄道に乗り入れしている特急に乗り、尾瀬口駅で下車、ここから一日数本のバスに乗り込みます



004 広沢田代

第一目標の急坂を登ると広沢田代に出ます。
なだらかな雪原をひと息つきながら歩くも、前方には次の目標、熊沢田代は、あの上に!!

5/5

003 いざ燧ヶ岳へ

御池ロッジ駐車場の端から登り始め、すぐにアイゼン装着。硬い雪面の急登に息を切らせながら広沢田代を目指します



005 熊沢田代

雪が舞い散る中、ひたすら直登し熊沢田代へ。
木道が出ている箇所もあり、俎嵜が姿を現しました。この後、吹雪に見舞われることになるとは…
この季節の天候は変わりやすいです。

006 俎嵯から柴安嵯を望む

今年は雪解けが早く、藪が現れている所は巻きながら藪漕ぎしながら、時折吹く強風に足を取られないように登り、俎嵯の頂上に着いた頃には天候も回復しラッキーなことに青空も展望も開けてきました。



007 柴安嵯へ

俎嵯から岩むき出しの急坂を下り、最高峰の柴安嵯への急登に挑みます。下から見上げると垂直に近い雪の壁を一步一步慎重に、緊張感は、MAX

008 柴安嵯

頂上まで登り切った達成感、眼下に広がる尾瀬ヶ原、尾瀬沼、周辺の山々の美しさは忘れません。風も止み、ランチの後は、大きな岩場の急坂を全身を使って下ります



009 樹林帯トラバース

岩場を過ぎ、樹林帯手前でアイゼンを装着し、大きく迂回しながら急な雪面を枝につかまり、踏み抜きに気を付けながら、高度を下げ、湿原に近くなるにつれて現れてくる川と化した夏道や木道に悪戦苦闘

010 竜宮小屋へ

悪路を経て無事下山し十字路でひと息後、雪が消えて春を迎えた湿原に至仏山へ真っすぐ伸びる木道を達成感、満足感、安堵感いっぱいに竜宮小屋まであと一息





←011 龍宮小屋前

本日も快晴！ 本日の目標の頂「至仏山」を目指して、龍宮小屋を出発



012 水芭蕉と至仏山→

どこでも歩ける真っ白な尾瀬ヶ原を楽しみにしていたのですが、全く雪がなく木道がしっかりと。リーダーオススの水芭蕉と至仏山のビューポイント



←013 急登

登山口からほどなくして結構な急登が始まります。アイゼンをしっかり踏み込んで登って行きます。



014 至仏山山頂 2228.1m→

頂上手前からは雪がなく、アイゼンを外して山頂へ。個人山行で来ていた会員さんと頂上で出会い一緒にパチリ



←015 夏道？冬道？

山頂付近は雪がなく夏道が出ており、雪道？夏道？となかなかルートファインディングが難しい。アイゼンも付けたたり外したりと忙しい。



016 トラバース→

トラバース道を慎重に抜け、オヤマ沢田代を經由して鳩待峠へ下山。これが今シーズン最後の雪山でしょうか。天候にも恵まれ楽しませて頂きました。